

平成 28 年度広島市民球場運営協議会 会議要旨

1 開催日時

平成 29 年 3 月 24 日（金） 14：30～15：20

2 開催場所

広島市役所本庁舎 14 階 第 7 会議室

3 出席者

(1) 委員（16 名）

深山 英樹、山根 恒弘、高垣 広徳、森信 秀樹、西川 正洋、神出 亨、
山本 治朗、畑矢 健治、永野 正雄、久光 博智、徳田 洋子、川瀬 啓子、
曾根 幹子、下中 奈美、近藤 敏博、松田 元

(2) 広島市

松井市長、竹内副市長
野田都市機能調整部広島駅周辺地区整備担当部長、
高野広島駅周辺地区整備担当課長、
柳下広島駅周辺地区整備担当主幹

(3) 株式会社広島東洋カープ

桂管理本部長

4 議題

- (1) 広島市民球場の運営状況等について
- (2) 平成 28 年度施設利用実績について
- (3) 2016 年カープ球団の事業実績について
- (4) 命名権について
- (5) その他

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

一般傍聴者	1 名
報道関係者	7 社

7 会議資料

- (1) 次第
- (2) 配席表
- (3) 委員名簿
- (4) 平成 28 年度広島市民球場運営協議会資料
- (5) 【参考資料】広島市民球場運営協議会関係法令

8 会議要旨

委員定数 20 名のうち出席者 16 名であり、定数の過半数を超えているため、協議会が有効に成立していることを事務局が説明し、議題を説明。

<議事>

事務局： 広島市都市整備局広島駅周辺地区整備担当部長の野田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開催にあたりまして、松井市長から御挨拶申し上げます。

市長： 皆様こんにちは、「広島市民球場運営協議会」の開催にあたり、一言御挨拶をさせていただきます。日頃から、我が市の行政への御理解を賜りまして、感謝申し上げます。

さて、カープの昨シーズンの活躍、もう皆様耳だこでしょうから言うまでもありません。もちろんカープの活躍もあるんですけども、それを支える球場の運営、松田オーナーを始めカープ球団の関係者の皆様の尽力によって、観客動員数2年連続200万人超え、と非常に成果が出ております。数字の上だけでなく多くの市民の心の中でも、喜びを掻き立てるということで、非常に我が市にとっても、うれしい結果が続いております。

今年のカープということではありますが、WBCも惜しいというようなことがありました。黒田投手を欠いた今年の戦力はどうかということですけども、新しい戦力が入っておりますので、そういった方々の活躍を期待する中で、再び頂きを目指していただくということ、緒方監督も3年目でありますので、しっかりとした運営、チーム一丸となって連覇を目指していただく、ということになるんじゃないかと思っております。

そういった活躍を支えるためにも、球場の運営をしっかりサポートしなければなりません。多くの方が納得いく球場運営ということでもあります。

今年で9年目、いろんなマスコミ等に取り上げられて、非常に創意工夫のある球場運営で素晴らしいと、皆様の模範になるような運営をしてきているんですけども、ここで留まらず、さらにまた一步一步とですね、最先端に行く球場運営ということをやるのが使命かなと思っています。

そんな中で、広島駅南口周辺の整備が着実に進んでおりまして、今年の10月頃、整備中の広島駅自由通路が完成いたします。そして、広島駅から球場に向かう道の整備も着実にできて参ります。この辺り一帯がいわゆるカープロードとして、皆様の注目を集める場所になってくる訳でありますけれども、歩行者専用道路の整備等に着手しておりますので、その成果が見えるように、そしてより一層利便性が高まるようなことをしながら、広島駅周辺の発展に力を入れていきたい、というふうに思っております。

そんな中で大きい方向は決まっていますが、具体的な整備にあたっては、様々な御意見もございましょう。こういった場所での皆様方の貴重な御意見をいただいて、より利便性を高めていくそのための工夫ということもしっかりやっていきたい、というふうに思っておりますので、どうかよろしく申し上げます。

終わりに、本日お集まりの皆様の御活躍と御健勝を祈念いたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局： ありがとうございます。引き続きまして、委員の御紹介です。

本協議会は、球場の運営に関する報告、審議などを行うことを目的として、委員 20 名で構成されています。

時間の関係もございますので、皆様の御紹介は、御手元の「委員名簿」に代えさせていただきます。

なお、本日は、苅田委員、石井委員、部谷委員、圓山委員の 4 名の方は、所用により御欠席となっております。高垣委員は少し遅れて来られます。

本協議会は、委員の過半数の出席により成立することとなっており、本日は 20 名のうち 16 名の委員に御出席いただいておりますので、有効に成立しております。

次に、事務局の職員につきましては、竹内副市長以下、担当の職員が御手元の「配席表」のとおり出席しております。

なお、急な用務のため、宮原局長が欠席となりました。申し訳ございません。

また、本日は、議題の関係上、(株)広島東洋カープの桂管理本部長にも、事務局側に出席していただいております。

ここで市長は所用がございますので、退席させていただきます。

それでは、まず、御手元にお配りしております資料の確認をお願いいたします。本日の「次第」、「配席表」、「委員名簿」それと別綴じの「平成 28 年度広島市民球場運営協議会資料」及び「参考資料」でございます。

本日の会議は、御手元の次第に沿って進めてまいりたいと考えております。

この度の運営協議会は、昨年 12 月の委員改選後、最初の開催となりますので、まず、「会長・副会長の選任」を行っていただきたいと思っております。

御手元の参考資料の「広島市民球場運営協議会関係法令」をご覧ください。

広島市民球場条例施行規則第 7 条第 5 項では、「協議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選によってこれを定める。」と規定しています。

どなたか会長に立候補又は御推薦いただけないでしょうか。

委員： はい、広島商工会議所会頭の深山委員を会長に御推薦したいと思っております。

事務局： ただいま永野委員から、会長に深山委員を御推薦したいという声がありましたが、皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

それでは、深山委員に会長をお願いいたします。

深山委員には、会長席に移動をお願いいたします。

それでは、深山会長、一言御挨拶をいただけますでしょうか。

会 長： ただいま、会長に御指名いただきました深山でございます。
よろしく申し上げます。

先程、御紹介がありましたように、25年ぶりのリーグ優勝を成し遂げられ、市民球場も大いに盛り上がり、観客動員数も2年連続で200万人を超えた、ということ過去最高だった一昨年の記録も更新されたと聞いております。

これは、カープ球団は元より、球場そのものが多くのファンに愛されているという証拠でありまして、広島都市圏の魅力づくりに大いに貢献しているのではないかとする風に思います。

さて、本協議会は、市民球場の運営に関する重要な事項を審議することを目的に設置されたものでありまして、本日は、球場の運営状況や利用実績などについて、報告があると聞いておりますが、今後、さらに魅力を高めていくために、皆様の忌憚のない御意見を頂戴したいと思っておりますので、どうかよろしく申し上げます。

事務局： ありがとうございます。

それでは、ここからは、会長に議事の進行をお願いいたします。

会 長： それでは、次に副会長の選任に移ります。副会長も委員の互選により選任することになっておりますが、私から公益財団法人広島市スポーツ協会の山根委員を副会長に御推薦したいと思いますのですが、皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

それでは、山根委員に副会長をお願いします。

山根委員には、副会長席に移動をお願いします。

それでは、これより議題に入ります。

まず、「議題1 広島市民球場の運営状況等について」です。内容について、事務局から説明をお願いします。

事務局： はい、お配りしております資料の1ページをご覧ください。「1 広島市民球場の運営状況等について」です。

市民球場では、平成21年度から30年度までの10年間、広島東洋カープ様に球場の指定管理者として、施設の管理運営を行っていただいております。

改めて指定管理者の運営の仕組みを説明させていただきますと、プロ野球主催

者としてのカーブ球団やアマチュア野球のチーム等から収入する利用料金を財源として、維持管理費に充てるとともに、最低 2 億 1,100 万円を市に納付してもらうという利用料金制度を導入しております。

それでは、「(1) 平成 27 年度指定管理経費等の収支状況」をご覧ください。

こちらの表は、指定管理者としてのカーブ球団の収支の状況を表したものです。28 年度はまだ決算ができませんので、27 年度のプロ野球シーズンとしては 2 つ前のシーズンを反映したものです。ご覧のように「収入」、「支出」ともに予算に比べ決算のほうが上回っております。「収入」につきましては、プロ野球の有料入場者数が 100 万人を超えた場合に加算金をいただく仕組みになっており、27 年度は入場者数が初めて 200 万人を超え、この加算金が見込みを大きく上回ったことやオールスターゲームの開催により決算額が予算額を約 1 億 3,700 万円上回っております。

一方、「支出」につきましては、一番下の欄の「その他」、これは球場の維持管理経費等ですが、入場者数の増加等により約 200 万円、決算額が予算額を上回っております。

その結果、下から 2 段目の「市への納付金」の決算額が予算額よりも約 1 億 3,500 万円上回る結果となりました。市ではこの納付金を、球場建設にあたり発行した市債の償還財源に充てております。

続きまして「(2) 観戦環境の改善等」についてです。

毎年、新たなシーズンに向けて施設の改善、改修をカーブ球団と広島市が行っており、特にカーブ球団におかれましては、毎年のように工夫を凝らして新しい魅力を加えていただいております。

ここでは、平成 29 年のシーズンに向けて新たに整備した主な施設を御紹介します。

まずは、「ア トイレの改修」です。

内野外野の 1 階席の外周を回る 3 階コンコースとその下の 2 階の一部のトイレをカーブ球団が改修され、いわゆる内野 2 階席やカーブとビジターのパフォーマンス席が 6 階になりますが、こちらのトイレを広島市が改修しています。

改修の内容としましては、内装の色ですけれども、従来、男性が青、女性が赤を基調とした内装でしたが、右のイメージ図のように白を基調としてドアには木目をあしらうなど、高質で落ち着いたデザインに変更しました。

また、2 階、3 階につきましては、女子トイレ等に温水洗浄便座を設置したほか、トイレの数が足りないという女性の声にお応えして、ブースを増設しています。既に完成しております、オープン戦から利用を開始しています。

次に、「イ レフトパーティーベランダ改修」です。

レフトスタンドポール際の外野席が上下に 3 層になっており、1 番下が外野砂かぶり席、その上がパーティーベランダ、その上がコンコースとグループ席になっ

ています。

その2層目のパーティーベランダ、こちらは150人のグループで楽しめる席ですが、従来の一般席と同様、独立型のシートでした。これをベンチ型にして所々にテーブルを設け、飲食をしながら思い思いの場所に座って観戦できるようになります。また、イメージ図の通り、飲み物や食べ物を受け取るフードコートデザインを高質化するとともに、図の右下の方ですが球場の外側、JRの線路の方を眺めながら、気分転換できるようなスペースも設けられます。

こちらも、カープ球団が整備されたもので、3月31日の開幕戦から利用開始予定です。

以上で説明を終わります。

会 長： ただいまの説明につきまして、何か御質問、御意見はありますか。

委 員： はい。今の説明でカープ球団が整備をなされた部分と広島市が整備をなされた部分とあったのですが、その区切りは、どういうものがカープから出されて、どういうものが市から出されるのでしょうか。

事務局： これは広島市の球場、広島市の施設ですので、基本的には広島市が整備しないといけないのですが、今あるものが例えば老朽化して古くなって、通常の更新であれば、広島市がやります。

カープ球団におかれましては、さらにお客様に良質で快適な観戦環境を提供したいということで、いろいろ工夫をされていまして、今回でいえば、トイレに温水洗浄便座をつけられたり、ラジオ中継のスピーカーをつけられたりというようないろんなサービス向上を図られています。そういった部分までは、市の方ではできないということで、市で基本的な施設の更新をやっており、カープ球団におかれましては、サービスの向上、より一層の向上というところの役割分担でやっております。

以上で終わります。

会 長： ありがとうございます。そのほかございますか。

続きまして、「議題2 平成28年度施設利用実績について」から、「議題5 その他」までを一括して、事務局から説明をお願いします。

なお、「議題3 2016年カープ球団の事業実績について」は、広島東洋カープの桂管理本部長から御説明をお願いします。

事務局： 続きまして、資料の2ページをお開きください。

「2 平成28年度施設利用実績について」です。

まず、「(1) 施設利用日数」ですが、28年度プロ野球興行については、クライマックスシリーズ、日本シリーズが初めてマツダスタジアムで開催されたことなどから、27年度より10日ほど多い86日、高校野球や少年、社会人等のアマチュア野球については、例年並みの66日となっています。その他、イベント、無料のコンコース開放、雨天中止となった日数も含め、合わせて282日を利用しております。これは、芝の全面貼り替えを行った27年度より20日ほど多く、例年に比べても7日程度多くなっています。

次に「(2) 施設見学」です。

コンコース開放は約4万4,000人と27年度に比べて1万3,000人ほど増えています。これは26年度の約2倍、27年度に比べまして4割増といった数字です。

今年度は、カープの好調な成績とともにマツダスタジアムの魅力がテレビで何度か紹介されることがありました。そういったことがありましたのでスタジアムへの関心の高まりを反映して人数が大きく伸びていると考えています。

そのほか、カープ球団でガイドを付けられて有料で案内しているスタジアムツアー、幼稚園・小・中学校の児童生徒等を対象にした無料の社会見学を、それぞれご覧の日数、人数で実施しており、合わせて日数は例年並みの161日、人数は27年度より1万2,000人ほど多い約5万3,000人の利用がありました。

続きまして、3ページをご覧ください。

「(3) プロ野球興行時の来場者動向」です。

球場がオープンした平成21年から毎年1試合で、アンケート調査をしております。過去5年分を経年で取りまとめたものを御説明いたします。

「ア 調査概要」です。平成28年度は、8月6日の土曜日のナイトゲーム、巨人戦で調査を行いました。ほぼ満員の31,781人の入場者がありまして、2,200枚のアンケート用紙配布に対し、有効回収率は50.4%です。

26年度までは毎年、9月の土曜日のデーゲームで調査し、27年度は9月の平日のナイトゲームで調査しましたが、28年度は初めて夏休み期間中であったため、これから御説明する調査結果にもその影響が表れているものと思われま

す。「イ 調査結果」です。

まず、「(ア) 性別」です。27年度は、女性の割合が初めて半数を超えましたが、今年はわずかに男性が上回っており、大体半々という結果です。

「(イ) 年代」です。5年間の傾向を見ますと、20歳代と30歳代の割合がだんだんに減っているように見えます。それ以外の年代が増えています。ただし、20歳代と30歳代が減っているのかという所につきましては、入場者数全体が増えておりますので、実数としてはそんなに大きく変わっていないものと思います。それよりも、こどもを含めた幅広い年齢層で来場が増えているものと思われま

す。続きまして、4ページをご覧ください。

「(ウ) 来場者住所」です。

年によって調査の曜日や対戦相手等の影響がありますのでちょっとしたバラつきがありますが、広島県外、県内、広島市内、それぞれ概ね3分の1ずつとなっております。広域的に集客する広島市にとっても重要な施設であるといえます。27年度は、平日のナイターのため県外からの来場が少なかったようです。

「(エ) 来場回数」です。

28年度は、27年度、26年度に比べて今シーズン初めて来られた「1回目」の方の割合が増えています。これはアンケートの時期が例年9月ですけど、今回8月だったということ、1か月早かったということや、先程ご覧いただいた、県外からの来場者が多い年は初めての方が多いという相関関係が見てとれるようです。

5ページをご覧ください。

「(オ) 野球観戦後の交通手段」です。

28年度も、大体例年どおり「自家用車」が4分の1、公共交通機関が半分となっておりますが、例年と違うのは「団体バス」が増えています。これは想像ですが、8月6日ということで平和記念式典のため団体が広島を訪れた方が観戦したのかもしれない。

次に「(カ) 観戦人数」です。

毎年9割前後が2人以上のグループとなっておりますが、28年度は過去5年で一番グループの割合が高くなっています。グループ席の人气が非常に高いと聞いていますので、グループで楽しめる方が増えているものと思われます。

次に、6ページをご覧ください。

「(キ) マツダスタジアムの評価」です。

球場の楽しさ・雰囲気、清潔感など、様々な項目で評価していますが、すべての項目で「満足」、「やや満足」の割合が、「やや不満足」、「不満足」の割合を大きく上回り、高い評価を得ております。

なお、グラフには表示していませんが全ての項目で26年度、27年度よりも「満足」、「やや満足」の割合が増えています。

グラフの一番下の「総合的な満足度」については、「満足」、「やや満足」を合わせますと、93%となり、非常に満足度の高い球場という結果を示しています。

7ページをご覧ください。

「ウ その他」として、アンケート調査の自由意見欄にいただいた主な意見を紹介しています。球場の楽しさについては、多くの方が「楽しい」、「また行きたい」ということで共感されています。

一方で、来場者が非常に多かったことで一人一人に十分な対応ができなかった面もあるのかなと思いますが、スタッフの対応や入場待ちの日除け、チケットの入手について不満の声がありました。

ただし、スタッフの対応につきましては、前のページでご覧いただきました評価のところでは95.5%の方が「満足」、「やや満足」というふうに回答しておられ

ますので、一部にはこういう不満の声もあったというふうに、受け止めてもらえればと思います。

以上でございます。

事務局： 続きまして、「議題3 2016年カープ球団の事業実績について」説明をさせていただきます。

8ページをご覧ください。まず、「(1) プロ野球入場者数」でございますけれども2016年は新市民球場が8年目のシーズンということでございましたが、皆様の御支援をいただきまして公式戦の入場者数、これはレギュラーシーズンのみでございますけれども、本拠地球場の入場者数は2,130,663人、その他球場、呉、三次でございましたけれども26,668人、合計2,157,331人となりました。前年比で47,065人の2.2%増加となっております。

「(2) 経営状況」でございますが、数値は来週行われます株主総会におきまして、承認を得て、確定することとなります。売上高でございますけれども182億100万円、前年比で33億6,900万円、22.7%の増加となりました。また、当期純利益でございますけれども14億4,600万円、前年比で6億8,400万円、約90%の増加となりました。

「(3) 地域貢献活動」でございますけれども、啓発活動、地域交流、野球・スポーツ振興、観光PR等、各種の活動に積極的に取り組んで参りました。

その結果、活動の合計は351件となっております、前年比で約30件の増加となっております。

以上、議題3についての説明を終わらせていただきます。

事務局： 引き続きまして、9ページをご覧ください。

「4 命名権について」御説明いたします。

命名権制度は、計画的に大規模改修や施設改善等を行うための財源を確保するために導入したものです。

「(1) 契約概要」ですが、平成21年度からの5年間に引き続き、平成26年度からの5年間も、マツダ(株)様に命名権取得者となっていただいております、命名権料として毎年2億2,000万円を納めていただいております。

「(2) 社会貢献活動」です。命名権取得者であるマツダ(株)は、球場を核として地域に貢献するパートナーとして、様々な社会貢献活動に取り組んでおられます。ここでは平成28年度の活動実績を御紹介しています。

「(ア) 広島県営林J-VERの購入」です。

球場のナイター照明で消費する電力の発電時に発生する温室効果ガスの相当量を県営林で吸収してもらうために、その間伐と整備費相当を負担されています。

次に、「(イ) 福祉車両の贈呈」です。

これは、球場の来場者が累計で 100 万人達成するごとに福祉車両を贈呈されているもので、28 年度は 2 回この節目がありました。4 月には累計 1,200 万人を達成し「森の工房みみずく」へ、7 月には累計 1,300 万人を達成し「うぐいす共同作業所」へそれぞれ福祉車両を贈呈されました。

次に、「(ウ) 球場周辺の清掃美化活動」です。

プロ野球シーズン中に、マツダ社員とその家族により、球場周辺の清掃を実施されています。

次に、「(エ) ヘリテージコーナーの設置」です。

広島市、カープ球団、マツダ、それぞれの挑戦をテーマにしたディスプレイを球場 3 階コンコースに設置されています。

最後に、「(オ) 球場の情報発信」です。

マツダ(株)のホームページ等各種媒体を通じて、球場の情報を発信されています。

事務局： 続きまして、10 ページをお開きください。

「5 その他」として、球場への歩行者道路の整備の状況を御説明します。

昨年までは「その他」としまして、球場周辺で行われておりました開発の状況を御説明しておりましたが、昨年の秋にマンションが完成いたしまして、全体が完成したということで今年度はご覧の歩行者用道路について御説明させていただきます。

広島駅とマツダスタジアムを結ぶ通称「カープロード」では、試合の開始前、終了後に大勢の歩行者で混雑し、自動車とも交錯することから、大変危険です。車両の通行規制等に対応していますが、球場オープン当初から安全で快適な歩行者空間の確保が課題となっています。

このため、この区間に歩行者用道路の整備を順次進めておまして、下の拡大図をご覧ください。昨年末にCブロック再開発ビルが完成しまして、平面部においては両側に歩道を整備するとともに、ビルを道路から後退して建てる、いわゆるセットバックですけども、後退して建てることにより、歩行者空間を広げています。また、高架のデッキ、エスカレーター、階段の部分が 3 月末までに供用開始となる予定です。

今後の整備予定につきましては、デッキから球場方面に向けては、線路をまたぐ愛宕跨線橋があり、来年度、この跨線橋に接続する区間の工事に着手することで関係者等と協議しているところです。

また、愛宕跨線橋から球場までの区間は、JRの用地取得に向けて、JR施設の支障物件移転の実施設計を行う予定となっております。

なお、愛宕踏切のところが一番混雑しますので、この上をデッキでまたいだ後、地上に下ろして、JRの用地を取得して歩道を整備する案について、関係者等と調整しているところです。

説明は以上でございます。

会 長： ありがとうございます。ただいま「議題 2」から「議題 5」までを御説明申し上げたのですが、どなたか御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

委 員： 質問で、教えていただきたいんですけども。3 ページのアンケート調査の結果のところなんですけども、毎年 9 月に調査されてるということなんですけども、今年度初めて 8 月 6 日のピースナイターで調査ということなんですけども、これを見ますと結果としてはやはりそうだろうなと思ったのは、例えば 4 ページの来場回数初めての人が 28.5%これはあの 8 月 6 日に合わせてきている人で、多分お一人様の男性が結構こられてるのではないかなと、このアンケートから見るとそういうふうに推測できるわけなんですけど、なぜ 9 月ではなく 8 月にしたのか、もし何か意図があれば教えてください。

事務局： はい。おっしゃる通り経年の変化を見るのであれば、条件を揃えておくほうが良いのかなと思います。

ただ、8 月 6 日に行った理由は、実際のアンケート調査の協力を広島経済大学に依頼しておりまして、ほかに平和関係のアンケートもするようになっていたということで、それにあわせて一緒に実施したということです。

委 員： 私は見に行ったとき大体タクシーで帰るんですけども、タクシーを呼び込んで出て行く流れがあまり良くないように感じてるんですね。

球場の観客の人が車道を横切って帰られて、ガードマンの人が、時々歩行者の方を止めて車を通す。また歩行者を通すという繰り返しになっているんですけど。

もう少し、タクシーをどのように呼び込んで、どう出すかですね。もう少し球場のレフト側の裏ですよ。裏側を通したらどうなるのか。よく分からないんですけど。タクシーが入って出ていくということに関しての流れが悪いなという印象を受けるので、何か検討する余地があれば。

委 員： あれはですね。コストコの方に駐車場があるんですよ。一般の人と、それとバスの駐車場があっちの方であって、レフトの方から結構くる。タクシー乗り場をあっちに持っていくとおそらく収拾がつかなくなる。タクシー乗り場は、屋内練習場のそばに溜まりをつくって、グルグルまわすんですけども、あそこはどうしても、ああいうふうになりますね。いろいろ工夫をしてはいるんですけど、やっぱりダメですね。それと逃げ道がどうしてもあっち側へ逃げれないんですよ。広島駅に向かって逃げていく左の細い道がありますけど、どうしても大州街道に向かって、平和橋の方に向かってって感じになると結構難しい。すいませんけど。

委員：タクシー利用者の方は全体では少ないって書いてありますので。まあ、意見として申し上げただけです。

会長：そのほかございますでしょうか。

委員：改めてこの運営や市からお金をかけるものは少なく、カーブから随分のお金を出していただけるということに感謝の思いでいっぱいでした。市民としましては、市債の償還ですとか、それからより良い施設改修に感謝を申し上げます。

それから例年申し上げますけども、いろんなボランティアの動きにいろんな形で支援いただくということで、これも心より感謝を申し上げます。

何よりも、もう一つすいません。私は心理の仕事をしているんですけども、今こども達の問題がたくさんあって、元々あるんですけど。あと家族の問題ですね。とっても大きな問題がいつの時代にもあるんですけど。広島においては、親が教えたら角が立つようなことも、カーブの物語がいろんな形で励ましたり、いろんな人生を教えてください。去年は特にそれを深く感じました。とても感謝しております。

委員：まずは御礼を。議題の中にも記録されておりますけれども、地域貢献活動として「広島県有林 J-VER」をはじめ、様々な県の施策であるとか、そういうものに御協力をいただき改めて感謝申し上げる次第でございます。どうもありがとうございます。

それから「ボールパークタウン」が完成し、広島駅前の B ブロック、C ブロックも完成したということで、あのエリア一体が非常に広島市にとって価値が有るとい、そういう意味でいうと更なる賑わい空間をどういう風につくっていくのかというのがエリア全体としても大きな課題にもなっていますね。

そういう中で 2 ページの資料を見せていただいた時に、施設利用日数が 282 日というふうになっております。これはシーズンオフの施設利用が少ないのか、あるいは 365 日に向けてまだまだ施設をうまく活用する可能性というものが、この数字の中に現れているのかというところが、一つ質問としてお伺いしたい。

委員：球団として申しますと、結構、楽天（仙台）の球場に比べますと、マツダスタジアムの使用頻度はすごく高いんですよ。一般開放もすごく高い率でやっているというのが、現状でございます。

あと、どうしても内野の芝。楽天も同じ芝にしてるんですけど。内野の芝という点において、あまり頻度が強くなりすぎると整備が追いつかなくなり、ちょっと辛いんじゃないかなと言うふうに思います。一般開放も逆に言えばアマチュア

の人たちに御無理を申しあげる部分もあるかもしれませんが。ある特定の時期に、内野の芝生を撤去してから毎年変えるんですけど、その撤去する前の時期にまとめてたくさん使っていただくような工夫だとか、そういうのをやっているの、結構、たくさん一般開放をしている方だと、私が言うのもおかしいですけど、自負しているところなんです。

委員： グラウンドの方は休ませる必要があるということですね。スタジアムの特徴としてコンコースが結構、よそにはない開放空間がありますよね。あれをうまく活用してグラウンドは休ませるけれども、そこをうまく活用して、その利用率を上げるということは。

委員： それは面白いと思います。

去年は、お化け屋敷をやったんですよ。シーズン中ですけどね。野球がある時は、お化け屋敷もお客さんが沢山来られて、普段の時は、なかなかそこまで来られないんですね。

ただ徐々に、広島駅の賑わいが、マツダスタジアムの賑わいに引っ付いてきているような状況を何となく感じていますし、それが大州街道の方に向かって、もっとより広がっていくという状況ができれば、ひよっとしたら、それがマツダスタジアムのどこかで何かをしようというふうになる。

年に一回やっていただけるのは、「来て見て乗ってみ祭」という日曜日にあるイベントがあるんですけど。これが結構な人が来られるんですけど、それはグラウンドを使わずコンコース使って、各団体でいろんなプレゼンをするような形のものを作ってらっしゃる。あれを見るとすごく良いなあと僕はいつも思っています。そういう意味合いでは、僕はまだまだもう少し工夫の余地は、あると思いますよ。

会長： それではこの辺りで、松田オーナーから今シーズンに向けての抱負をお願いします。

委員： キャンプの当初にすごく調子良いと僕は思ってたんですよ。野手の伸びていくのか、それが顕著にポーンと出てきてる感じがして、選手が伸びてきたなと。去年伸びてきた選手以外の選手が伸びてきたなと。これって良いなと思ったら、だんだんシーズンが近づいて来ると、怪我したり、怪我人が出てきたりと、そういうものがどんどん出てきて、だんだんだんだん疲れ、そういうのも出てきますしね。WBCに行った3名がいなかった部分チャンスがあったわけですよ、野手たちに。それで一生懸命さを出していったら、その分だけのタフさがなかったわけですよ。今疲れとるような感じ。あと一週間、開幕まで時間がありますから、この間にうまく調整をしてスタートダッシュ。いつも毎年、毎年言うのはスター

トダッシュの話しているんですけど。去年は4月に貯金が4あったんですよ。5月に貯金1。6月が凄かったんですね。6月が貯金11だったかな。確か6月末に貯金を15にしてるんですよ。11連勝してるんですよ6月に。まあ、6月の終わりくらいに貯金10。開幕をしてからは貯金5、貯金4でも良い。なぜかという、3連敗しても貯金が1個ある状況が欲しいんですよ。そういう状況で戦っていければ、良い結果が出るんじゃないかと。そして、今度は皆さんが望んでいらっしゃるものに向かって。サミットって、さっき頂点とか市長さんがおっしゃっていましたが。必ず、いつもこの言葉を使っておられるんですよ。今度はサミットでいきますから。よろしくお願いします。

会 長： それでは、以上を持ちまして、本日の運営協議会を閉会といたします。
ありがとうございました。

議事録署名者

深 山 英 樹